

まちをつくる まちがいきる 地域社会の担い手 シルバー人材センター事業



✓ 地域貢献

シルバー人材センターは、地方公共団体と連携し、地域住民の生活をサポートしています。

✓ 地域再生

シルバー人材センターは、さまざまな活動を通して地域再生にも大きく貢献しています。

✓ 高齢者の生きがいづくり

シルバー人材センターは、就業や社会参加活動を通して高齢者の健康で生きがいのある生活づくりをサポートします。

取り戻そう! 活力と賑わい 産業・地域振興

商店街の活性化に貢献

企画



空き店舗を活用した“シルバープラザ”を開設

市の活性化計画の一環として商店街の一角に、シルバー本町プラザ『とんとん館』がオープン。子育て支援“子育てばあばといっしょにあそぼ!”や親子広場、会員手づくりの民芸品の販売等で、街の賑わいを取り戻すことに貢献中。

企画



地元商店街との連携で街に活気を

中心市街地の活性化及び子育て支援を目的とした託児所「こども広場・キッズパラダイス」を駅前の商業ビルの一室に開設。安心して買い物を楽しむことができると人気を呼んでいます。

観光案内で地域に貢献



シルバー観光ガイド

各地の観光地や名所・旧跡を「おもてなしの心」で案内し、地域の観光の振興に一役買っています。観光案内技術の研鑽を積んだシルバーガイドの案内は観光客から人気を呼んでいます。

遊休農地の利用等で農業・環境の振興を図る



シルバー農園で食の安全を

高齢化の進行による農業後継者問題等から遊休農地・休耕地が増えている中、農業の振興に一役買う「シルバー農園事業」に注目が寄せられています。食の安全と顔の見える野菜づくりをめざしています。



学校給食の残滓で給食の食材を

学校給食の残滓を譲り受け、シルバー農園で有機肥料として使われています。農園でのジャガイモ等収穫物の半分は、学校給食用の食材として提供しています。



地方と都会の交流で街に活力を

「自然豊かな地方の魅力を味わってもらおう」と、首都圏の会員や家族を地方に呼び、地場特産の果物や野菜の栽培体験を通じて交流を図るユニークな事業がスタート。特産品のPRを始め、観光の振興に一役買っています。

環境の保全と美しい街づくりに貢献



いっぱいの花々で道行く人の心を和ませる

フラワーロード(県道)には、センターが「道路里親」となって植付けた色とりどりの花々が心癒される街を演出し、道行く人々の心を和ませています。

企画



緑のリサイクル事業

市の環境基本条例の制定に伴い「緑のリサイクル事業」を推進。剪定後の枝葉を堆肥化して農作物や花卉の生産・販売を行うほか、カブトムシ等を養殖し次代を担う子ども達への環境教育にも一役買っています。

企画



地場産業の活性化と環境保全

夕顔栽培農家が減少していることからJAの指導の下に、栽培に挑戦し、かんぴょうとして商品化。また商工会との連携により「ゆうがお茶」の原料化にも成功。地場産業の活性化と環境保全に役立つ活動として注目を集めています。

教育・子育て支援

子ども達の健やかな成長と笑顔を

児童の安全見守り



登下校の見守り

「安全で安心なまちづくり条例」の制定を契機に「シルバー子ども見守り隊」を発足させ、市内全域で登下校時の児童の安全確保に活動しています。高齢者と子ども達とのほのぼのとした交流も芽生えています。



安心・安全な地域づくりに貢献する駅前民間交番

安心・安全な街づくりの一環として、地元の商店街や百貨店が中心となって開設した駅前民間交番では、2人の会員が常駐し、日中の見張り番を行っています。

子ども未来推進



地域の伝統や文化を子ども達に伝えたい

地元ライオネスクラブから寄贈された移動式かまどを持参して、市立幼稚園を巡回訪問。園児も参加し、昔ながらのご飯炊きを手間隙かけながら行きます。最後には、みんなで試食することで「食」の大切さを体感してもらう取組みを行っています。

子育てを応援します

企画



広場開設で笑顔の賑わい

「市民が安心して子供を生み育てることのできる街づくり計画」に沿い、商店街連合会と連携し、空き店舗に「託児ルーム・ララキッズ」を開設。買い物時のお子さんの一時預かりを始め、子育て・育児相談にも応じています。



子育てと仕事の両立を支援する

出生率の低下による地域社会の活力等への影響が懸念されている中、子育ての不安と負担の解消、子育てと仕事の両立を目的に、市と連携し、母子家庭等に対する生活援助、保育・育児支援サービスを行っています。



“ゆっくり勉強”のお手伝い

「音楽会や観劇、各種講座に参加し勉強をしたいが子どもがいるから」と、あきらめている方はいませんか。催し会場に出張し“一時預かり”で、たまにはゆっくり勉強をしていただく支援も行っていきます。

教育・文化で地域貢献を

企画



退職教員が先生となって放課後の勉強をみる

低学年の児童を対象に放課後の約1時間半、空き教室を利用して国語と算数の「おさらい教室」がスタートしました。先生は、元教員等の会員です。

企画



体験学習活動でふれあいづくりを

子ども達には、地域の文化や自然を守ってってもらいたいと願っています。一方、子ども達との交流を深めることは、会員の“いきがい”にもつながります。今日は、へちま苗の植えつけ体験で、お互いの交流を深めました。

企画



総合学習で共同しています

総合学習の一環として、野菜の栽培を通じて収穫の喜びを体験し、情操を養うことを目標に、学校農園を利用して生徒と会員との共同によるジャガイモの栽培管理を行っています。今日は植え付け作業の準備を行っています。

いつまでも住みなれた地域で 介護予防・生活支援

介護予防活動



楽しみながら介護予防を

あるときは銭湯で、またあるときには市民プラザを会場に、技能を持った会員が講師となって介護予防のためのさまざまな講座が開かれています。蘭の花の栽培や大人の塗り絵教室等、会場は笑い声に包まれ、どの講座も毎回定員オーバーの人気振りでです。

企画



生きがいをづくりを応援します

地域の高齢者のためのサロン“めぐりあい元気工房”が開設されました。ガラス張りの室内は、高齢者の明るい声で賑わっています。高齢者同士が気軽に交流することで、閉じこもりや社会的孤立の解消に一役買っています。

企画



傾聴ボランティア活動

地域の高齢者に孤独感を与えないよう、センターに登録の高齢者世帯からの要請があれば、いつでも話し相手を派遣する傾聴ボランティアに注目が寄せられています。訪問する会員は、時にはうなずきながら、一生懸命に耳を傾けています。

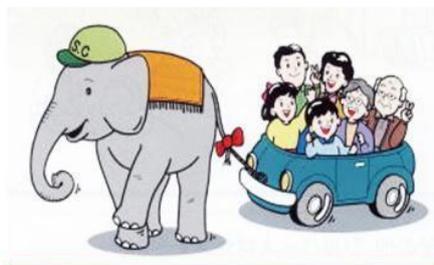
日常生活を支援します



支えあいの心を大切に

自立した生活の継続と要介護状態の進行を防止するため、介護に関する講話や寝たきり予防体操、室内清掃、外出援助、食材の買い物、簡単な大工仕事等さまざまなニーズに応じて、住みなれた地域で安心して暮らせるサービスを提供しています。

安心・安全の環境づくり



お助け隊“すぐいくゾウ”の活動

高齢者世帯では、電球1個の交換でも助けが必要です。生活面での困りごとにもすぐ駆けつけるお助け隊。いつでも直ぐに出向いていく”すぐいくゾウ”が高齢者の生活を守っています。

専門技術を活かした介護で活躍



高齢者福祉サービス補完事業

高齢化の著しい進行に伴い、十分な介護サービスが受けられない高齢者が増加しつつあります。また、福祉施設での職員の不足等がみられる中、地域包括支援センター等の専門分野の介護現場でも、有資格会員のホームヘルパー技能が大いに活かされています。

医療費と介護保険で
約500億円
削減に寄与



一般の高齢者に比べて就業している会員の年間の総医療費の状況を調査研究した“報告書”で、会員は一般高齢者に比べ、年平均(換算)で6万円も下回り、介護保険と合わせると地域医療・介護の財政軽減に大きく寄与していることが明らかになっています。

(国全体では、年間約500億円の削減につながります。)

※報告書は(社)全国シルバー人材センター事業協会発行



企画提案方式による事業

『企画提案方式による事業』は、平成20年度に始まった事業で、「教育」「子育て」「介護」「環境」「第1次産業」「観光」の6分野(20年度から23年度までは、「第1次産業」「観光」を除く4分野)において地方自治体の行政プランと連動し、センターの有するノウハウと人材を最大限発揮しつつ、地域社会の発展、活性化等に寄与する事業です。

平成26年度からは6分野に限定せず、地域ニーズに応じた新規事業の立ち上げのための『地域ニーズ対応事業』を実施することとなりました。